

さとう そう
佐藤 聡
教授

日本歯周病学会常任理事、日本歯周病学会専門医・指導医

1987年日本歯科大学新潟歯学部卒業、1991年日本歯科大学大学院歯学研究科修了、2005年より現職。



もろずみ ゆうこ
両角 祐子准教授

日本歯周病学会専門医

1995年日本歯科大学新潟歯学部卒業、1999年日本歯科大学大学院新潟歯学研究科修了、2010年より現職。

歯周病の症状(総論)

歯周病予防のため、年に1、2回は歯科医院でクリーニングをしましょう。

歯周病は全身の病気と深い関わりをもつといわれています。日本歯周病学会にご協力をいただき、歯周病についてのお話をうかがいます。第12回は「歯周病の症状(総論)」です。

歯周病とは

歯周病は、文字どおり歯の周り、つまり歯を支える組織である歯ぐき(歯肉)、歯を支える骨(歯槽骨)、セメント質、歯根膜からなる「歯周組織」に起こるすべての病気をまとめていうものです。歯周組織は、歯を支える上で重要な役割をしています。

歯を失う原因の第一は歯周病で、全体の約4割と報告されています。その原因として、歯周病は「サイト・ディージーズ(静かに進行する病気)」ともいわれ、ある程度進行した段階まで症状に気づかなかつたり、気づいたとしても進行した状態であると受け止められにくく、また、歯肉以外の組織は歯肉の内側にあり、目に見えないので、歯周病の症状に気がつきにくいことがあげられます。

歯周病の主な原因

歯周病の主な原因は、歯に付着している白または黄色の粘着性の沈着物(プラーク)や、プラーク中の細菌がつくりだす刺激物質です。歯と歯肉の境目についてプラークなどにより生じた炎症の広がりによって、歯周病は大きく歯肉炎と歯周炎に分けることができます。歯肉炎は、原因となるプラークや刺激物質の影響が歯肉にとどまりますが、歯周炎では、その影響が歯を支える歯槽骨にまでおよび、症状が進むと骨が溶けてしまいます。

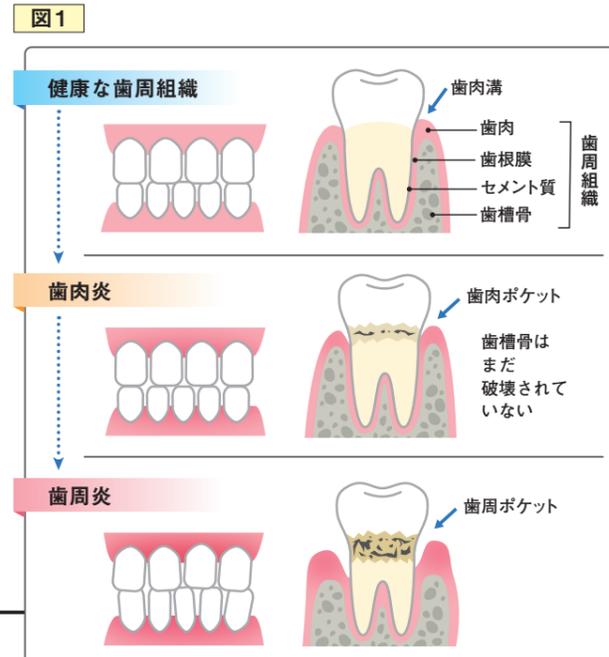
歯周病の初期では、歯と歯肉の境目に磨き残しによるプラークがたまり、歯肉は炎症を起こし、赤くなり、歯磨きの際に出血しやすくなります。触るとぶよぶよしたり、歯肉がむずがゆく感じることもあります。これが、歯肉炎の症状です。健康な歯肉と歯の間

いですが、そこで、プラークによる変化があった場合は、歯医者さんを受診することをお勧めします。「プラークによって口の中に起こる変化」

- 歯茎の色が赤くなる
 - 歯茎の形が変化してきた
 - 歯ブラシで歯磨きすると出血する
 - 歯と歯茎の間に溝ができた・歯を支える骨の破壊が進み、溶けだしています
 - 歯茎から膿がしみだす、歯を指でさわるとぐらつくのを感じる・さらに症状が進行しています
 - 歯を支える骨まで影響がおよぶ歯周病の多くは、50歳前後からみられるようになります
 - 30歳より若い方で次のような症状がみられたときは、歯周病の専門医を受診してください
- 【歯周病専門医の受診が勧められる場合】
- 歯を支える骨にまで破壊が進み、歯がぐらつく
 - 口の中の多くの歯に症状があらわれた
 - 重い糖尿病の治療を受けている

歯周病の進行のしかた

歯肉の炎症がさらに進むと、歯周炎になり、歯と歯肉の間の溝は、歯と歯肉の結合が破壊され、「歯肉ポケット」といわれる状態になります。歯周炎でも、歯肉の炎症や腫れは認められますが、さらに、歯肉の内側で歯を支える歯槽骨が溶け、歯がぐらつくようになります。また、炎症により歯肉が健康な位置から歯の根元の方に下がり、歯の根の部分がみえ、歯が長くなったように感じる場合もあります。さらに歯周炎が進行すると、歯肉から膿が出たり、歯が移動して歯並びに変わ



どんな症状が出るの？

初期の症状

歯周病の代表的な症状は、プラークの磨き残しによって歯肉に炎症が起こっていることをあらわします。そうした変化がみられる部分では、わずかな刺激でも出血することがあります。

- 【歯周病の代表的な症状】
- 歯肉が赤く変化する
 - 歯肉が腫れ上がる
 - 歯茎が腫れ上がる
 - 歯茎が赤くなる
 - 歯茎が腫れ上がる
 - 歯が移動して歯並びに変化があらわれる
 - 歯茎から膿が出る
 - 口が臭くなる
- さらに歯と歯茎の結合の破壊が進むと、歯を支える骨が溶けていきます。次のような症状がでてきます。
- 【歯を支える骨が溶けだすことで起こる症状】
- 歯がぐらつく
 - 歯が移動して歯並びに変化があらわれる
 - 歯茎から膿が出る
 - 口が臭くなる

まとめ

最新の治療として、破壊されて失われた組織を再生させる治療法も報告されていますが、現時点では歯周病の進行を食い止める治療がほとんどで、完全に元の状態までに回復させることは難しいです。この観点からも、歯周病にならないようにすることが、または早いうちに見つけて治療することが望まれます。

表1 歯周病セルフチェック

当てはまるものにチェックをしてみましょう

- 歯ぐきが赤く腫れている
- 疲労時に、歯が浮いた感じがする
- 歯磨きの時に、歯ぐきから出血する
- 起床時に、口の中がネバネバする
- 口臭が気になる
- 歯と歯の間のすき間に、食べ物がはさまりやすい
- グラグラする歯がある
- 歯ぐきが下がった(やせてきた)
- 歯が伸びたように感じる
- 歯並びが変わった

一つでもチェックがついた場合は、歯周病の可能性がります。歯科医院を受診しましょう。

判定

